

中国太郎の発掘日記

島根県埋蔵文化財調査センター
江の川改修発掘調査事務所
TEL 0855-52-7014

10月に入り、さわやかな秋晴れがつづいておりますが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

さて、今年の5月から発掘調査を行っている江津市松川町の森原神田川(もりはらじんでがわ)遺跡では、7月から8月にかけての大雨や夏の厳しい天候により調査の進捗が一時的に滞りましたが、現在は鋭意進行しています。

島根県埋蔵文化財調査センターの発掘調査により、中世から近世までの自然流路(旧河川)や包含層(遺物を含む土層)が複数発見されました。自然流路は江の川の方角に向かって流れる川でしたが、現在は埋没しています。

また、これらの河川ができる前には「包含層」と呼ばれる遺物を含む土が厚く堆積していることが判明しており、縄文時代から平安時代頃までの土器や鉄器、石器などが多く出土しています。

発掘調査は、自然流路の確認が終了し、現在は包含層の調査を実施しています。包含層の調査が終了次第、発掘調査は完了予定となっております。

11月には現地公開を実施しますが、随時遺跡見学も可能ですのでご希望がありましたら調査事務所までご連絡ください。



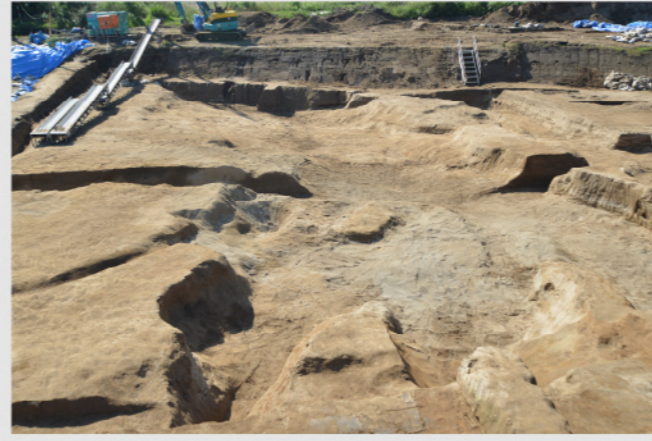
【安全のためのお願い】
発掘現場は深く掘り下げた場所があり、たいへん危険です。事故防止のため、無断で立ち入らないようにお願いします。

【遺跡見学について】
発掘に興味のある方や、社会科や総合的な学習での見学希望は調査事務所ですぐ受け付けております。上記連絡先までご連絡ください。

森原神田川(もりはらじんでがわ)遺跡の発掘調査

- 所在地:江津市松川町太田
- 調査面積:約3,000㎡
- 調査予定期間:5月~11月
- 調査状況

自然流路(旧河川)を5本検出しました。これらの自然流路最下層で出土した遺物などから、中世~近世(17世紀)に機能していた河川であることが判明しています。また、自然流路ができる以前に複数の包含層が厚く堆積していることが確認されています。包含層から出土する遺物は縄文時代~平安時代を中心としています。



検出された自然流路(17世紀ころ)

江の川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査(松川地区)

森原神田川(もりはらじんでがわ)遺跡現地公開

日時:平成30年11月4日(日)13:00~14:30

場所:森原神田川遺跡(江津市松川町八神)

森原神田川遺跡の発掘調査の成果を地元のみなさんを中心に公開します。遺跡や出土品を間近でみる事ができる貴重な機会ですので、ぜひお越しください。

- * 雨天中止(少雨決行)
- * 汚れてもよい、服装や履物でお越しください
- * 係員の誘導・指示に従ってください
- * 駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせのうえお越しください
- * お問い合わせは、江の川改修発掘調査事務所まで

